

佛教學七三十一

第 49 号

唯識思想の成立について……………舟橋尚哉…1	
——唯心から誰識へ——	
ラムリムチェンモ（止の章）の和訳（二）……………小谷信千代…20	
非 択 滅 無 為……………宮下晴輝…45	
* * * *	
研究ノート	
研究 雑 感……………白館戒雲…63	
書 評・紹 介	
『富貴原章信仏教学選集』……………山部能宜…72	
第一巻『中国日本仏性思想史』	
第二巻『唯識の研究 三性と四分』	
第三巻『日本唯識思想史』	
丹治昭義著：『沈黙と教説』……………兵藤一夫…87	
武覚超著：『天台教学の研究』……………山野俊郎…96	
人 と 業 績	
先師富貴原章信博士 追慕……………稲垣淳造 102	
* * * *	
海外ニュース	
ハーバード大学の仏教学……………ロバート・ローズ 107	
—— 一学生の視点から ——	
学 会 彙 報	

1989年5月

大谷大學佛教學會

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 47 号

- パーリ語文献にあらわれたる四念処の修習について……………佐々木教悟
ラムリムチェンモ(止の章)の和訳(-)……………ツルティム・ケサン
真妄から理事へ……………織田顕祐
——法蔵の智儼観——

研究ノート

- 現観辺智諦現観……………宮下晴輝

書評・紹介

- 浪花宣明著『在家仏教の研究』……………片山一良
氏家覚勝著『陀羅尼思想の研究』……………片野道雄

- 『成唯識論』の文献上の性格と思想の特徴……………渡辺隆生

¥ 1000 〒 50

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 48 号

- 維摩詰所説経と吉蔵……………三桐慈海
五種法身説……………木村宣彰
——中国佛教初期における法身説の一類型——

チム・ジャンピーヤンの『俱舎論釈』

(第六章賢聖品)の和訳(-)……………小谷信千代

『順正理論』の三世実有説……………福田琢

ジュニャーナシュリーミトラのアポーハ論……………桂紹隆

書評・紹介

長崎法潤著: ジャイナ認識論の研究……………宇野惇

佐々木教悟著: インド・東南Ⅱ上座部仏教

アジア仏教研究

インド・東南Ⅲインド仏教

アジア仏教研究……………藤田宏達

小川一乗著: 空性思想の研究Ⅱ……………江島恵教

——チャンドラキールティの中観説——

舟橋一哉著: 俱舎論の原典解明 業品……………本庄良文
学 会 叢 報

¥ 1000 〒 50

編集後記

ある時期には「このころの時代」ということが盛んに言われ、近頃はまた「近未来の宗教」という言い方がされているようですが、そこで語られる多くは、霊の存在と将来の予測が関心事のようです。果してそれが宗教なのか、有無の二見の間を彷徨している姿にすぎないのではないか、しかし一面に人間の歩むべき道を、確実に模索しているのかも知れない、などと考えてみたりもしています。このような時代における本誌の役割は、やはり明確な研究成果を世に問うていくことにあるのでしよう。

今号には多彩な研究や紹介を収めさせていただきました。論文三篇は本会スタッフによる、日頃の研究成果の一端を報告してもらいました。ツルティム氏の研究ノートは、伝統的なチベット仏教と現在のそれとの間の課題が提起されています。書評紹介三篇、それぞれの研究分野から、適切に論じていただけたことを喜んでおります。

故富貴原博士の選集刊行が企画されて数年、今春三巻の発行が完了しました。

本誌第21号に追悼文をよせられ、選集刊行の責任者でもあった桜部建博士のおすめもあり、大阪大学の山部能宜氏に書評紹介をお願いしたところ、各巻それぞれにわたって懇切な紹介をいただきました。三巻一四六頁からなる論文集であり、しかも故博士の重厚な論調によって綴られているのに対して、詳細綿密な解説をほどこすとともに、近年の研究成果との密接な関係にも言及されています。山部氏の御尽力に深くお礼を申し上げます。なお人と業績において、故博士の薫陶を深く受け、撰集刊行の楦の下の役割を果された稲垣課長に、博士の思い出を語っていただきました。講筵にいささかでも連なった一人として懐しい思いで読ませてもらいました。

海外ニュースは、ロバート・ローズ氏が二年間のハーバード大学での研究生活を中心に、その研究状況を知らしてくれました。御夫妻の御健康を念じます。

(三編)

佛 教 学 セ ミ ナ ー 第49号

1989年5月20日	印刷	定価	1,000円
1989年5月30日	発行		(本体 971円)
編 集	行	大 谷 大 学 佛 教 学 会	
編 集	行	発 行 者	福 島 光 哉
			京都市北区小山上総町22番
			振替 京 都 4-25303
印 刷		中 村 印 刷 株 式 会 社	
発 売 所		文 栄 堂 書 店	
			京都市中京区寺町通三条上ル
			振替 京 都 8-2948 番
			電 話 (231) 4 7 1 2

作意と訳す(巻15' p. 2. 右)。

① SNS pp. 107-8, sec. 29. に十七種の空が説かれる。カマラシーラはこの十七空にその後の sec. 31 に説かれるそれら十七空を総合する総空 (sunyatāsamgrahakṣaṇa) を加えて十八空と考えたのであろうか。野沢 p. 319 参照。

② de nas gsal ba la bogs bton pas: Wayman は明瞭さから利益を引き出すというように訳す (p. 116, 12-13)。法尊は次令明顯其明易成と訳す(巻15' p. 2. 左)。

③ nu bzhi tshan gnyis: Wayman 4 four alternatives and two classes と訳す (p. 116, 18-19)。法尊は二種四

句之説(巻15' p. 2. 左)。

④ dmigs rten: Wayman 4 foundation of meditative object と訳す (p. 117, 10-11) が dmigs pa と殆ど同義と解する方がよく。Wayman のよびに訳しても foundation が何を意味するか分からない。法尊の所縁境といふ訳(巻15' p. 2. 左)が妥当なところであらう。

執筆 者 紹 介

舟 橋 尚 哉

大谷大学教授

※リポジトリ非公開

兵 藤 一 夫

大谷大学専任講師

※リポジトリ非公開

小 谷 信 千 代

大谷大学専任講師

※リポジトリ非公開

山 野 俊 郎

大谷大学真宗総合研究所研究補助員

※リポジトリ非公開

宮 下 晴 輝

大谷大学専任講師

※リポジトリ非公開

稲 垣 淳 造

大谷大学図書館課長

※リポジトリ非公開

白 館 戒 雲

大谷大学専任講師

※リポジトリ非公開

Robert Rhodes

Ph. D. Candidate, Department of East Asian Languages and Civilization, Harvard University

山 部 能 宜

大阪大学大学院博士後期課程

※リポジトリ非公開

※リポジトリ非公開

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

On the Establishment of Vijñaptimātra Thought	FUNAHASHI Naoya	1
—From Cittamātra to Vijñaptimātra—		
Japanese translation of the <i>śamatha chapter</i> of Lam rim chen mo (2)	ODANI Nobuchiyo	20
Apratisamkhyānirodha	MIYASHITA Seiki	45
* * * * *		
Reflections on My Research	SHIRATATE Kaiun	63
Book Reviews		
The Selected Writings of Fukihara Shōshin on Buddhist Studies	YAMABE Nobuyoshi	72
Volume I: <i>The History of Buddha-nature Thought in China and Japan</i>		
Volume II: <i>Studies in Consciousness-Only: Three Natures and Four Portions</i>		
Volume III: <i>The History of Consciousness- Only Thought in Japan</i>		
TANJI Yoshiaki, <i>Silence and Preaching</i>	HYŌDŌ Kazuo	87
TAKE Kakuchō, <i>Studies in Tendai Doctrine</i>	YAMANO Toshirō	96
* * * * *		
Reminiscences of Dr. Fukihara Shōshin	INAGAKI Junzō	102
* * * * *		
Buddhist Studies at Harvard University	Robert RHODES	107
—One Student's Viewpoint—		

Reports

PUBLISHED BY
THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
OTANI UNIVERSITY
KYOTO JAPAN